

キックベースボールで広がる交流の輪

市長杯争奪第一回
スーパースポーツキックベースボール

十一月五日、市長杯争奪第一回国際スーパースポーツキックベースボール大会が、カルチャーセンターグラウンドで開かれました。キックベースボールとは、サッカーのボールを使って、足で蹴る野球のこと。この大会は、「キックベースボールを通じて国際的な友情を深めよう」と市内のレクリエーションサークル「ゆにれつくステーション」が主催しました。大会には市内外

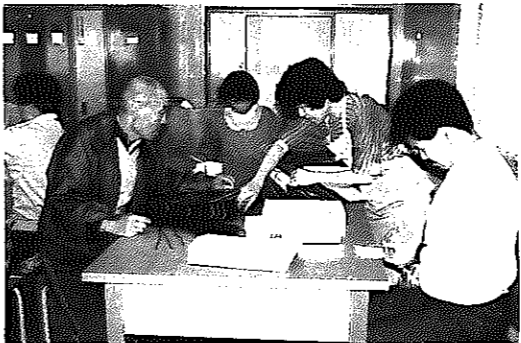


宣誓。誰もが気軽にできる
ニュースポーツは、新しい交流
の輪を広げていました。

長年の夢が実現 通所作業所が完成

手をつなぐ親の会・肢体不自由児者父母の会

「ハンディキャップを持つ人たちが社会生活を営めるように」と手をつなぐ親の会と肢体不自由児者父母の会が中心になって、通所作業所「しろねふれあい工房」がつくし園内に開設されました。二つの会は、数十年前から「通所作業所をつくらう」と積立基金制度を創設。それを活用して、今回の開設にこぎつけたものです。十一月五日に行われた開所式では、阿部助役から手をつなぐ親の会会長の高橋重夫さんに



作業をする通所生の皆さん

白根神楽舞を県民に披露

第6回新潟県伝統民俗芸能発表大会

県内各地の民俗芸能の発表・鑑賞の場となっている、県主催の第6回新潟県伝統民俗芸能発表大会が、十月十五日に弥彦総合文化会館で開催され、白根の獅子舞を白根神楽舞保存会の皆さんが発表。詰め掛けた観衆の目を惹きました。白根の獅子舞は、民衆の間に古くから伝えられてきた芸能。獅子の幕の中に四人が入ること



スキー大好き 昔も今もこれからも

白根スキークラブ30周年記念大会

発足以来、三十年余の歴史を誇る白根スキークラブ。その歩み振り返り次の活動に続いていこうと、同クラブでは十一月十一日、サルナート吉連堂で三十周年記念大会を開催。記念講演会や大抽選会に約百五十人の観衆が詰め掛きました。冒頭のあいさつで、佐藤喜八郎実行委員長は「スキー講習会などを通じて地域の人と交流を深めることができました。今、三十年の歴史が確かなものであったと確信しています」と関係者に感謝を述べました。講演会では全日本スキー連盟



白根スキークラブ30周年記念大会
記念講演会 講師 SAJデモンストレーター 佐藤喜八郎

白根市民、大いに 知事をうならせる

県知事の地域別懇談会

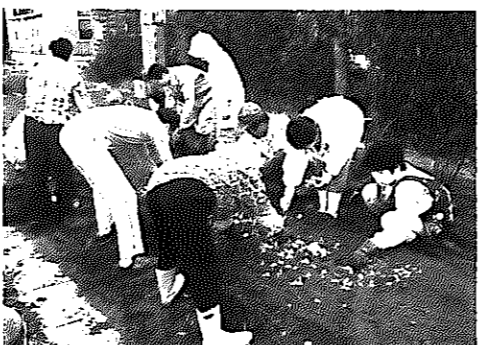
十月二十日、横越村を中心に開催された県知事との地域別懇談会で、白根市民の発言が相次ぎ、知事や聴衆を大いにうならせました。この懇談会は県民の意見を直接聞くために、県が平成四年度から実施しているもので、今回の中浦・黒崎ブロックで県内を一巡し終わります。午前中、黒崎町での「ろばた対話」は知事と県民数人がひざを交えてのもの。そこにも白根市民一人が参加し、地域の緑化運動によるまちづくり論を展開。また、午後には横越村で開催された「さわやかトーク」にも白根市民二十六人が大観衆の一員として参加。四人の市民は、歩道整備、護岸工事の要望から



色とりどりの花、春には満開

戸頭地区自治会球根作付け

十月二十二日、旧戸頭用水路敷地内の約七百メートルにわたって、球根の作付け作業が行われました。これは、(財)自治総合センターが行っている緑化推進コミュニティ助成事業に戸



二回目のこと。作業は、地区の人たち二十人余りが出て早朝から始められました。スイセン、ヒヤシンス、チューリップの球根一千六百個を約二時間ほどかけて植え、ひと汗かいた皆さんは「作業は大変だったが、咲けばみんなが見てくれるでしょう」と、にこにこ顔。来年春には、色とりどりの花が咲き、道行く人たちの目を惹かせてくれることでしょう。

踊り合い、触れ合い、 親睦を深める

社交ダンスサークル連盟チャリティーパーティー

社交ダンスを地域に普及させたいこうと活動を続ける白根社交ダンスサークル連盟の皆さん。十月二十九日にカルチャーセンターで第3回のチャリティーパーティーを開催。約三百五十人の愛好家がダンスを楽しみました。照明を落とした会場で、華やかな衣装をまとって踊る参加者たち。晩秋の夜に心地よい汗が流れます。華麗なステップを通じて、交流の輪があちこちに広がっていきましました。常にチャリティー活動とからめて行われる同連盟のパーティー。今回もオークションの

